戦国妖狐
15
せんごくようこ
水上悟志

私事ですが、子供が生まれました。
子供が生まれる前、心配だったことがありました。
子供が生まれたら自分はぬるくなってしまうのでは？
人として丸くなって漫画を描く情熱や精神状態に異変をきたすのでは？…と。
今のところ、いつも通り描けてます。
しかし子供が漫画を読める歳になってきたらどうだろうか？
我が子に自分の漫画を読んでもらいたいか？
・わかりません。
「あー」「うー」しかきこえない我が子に
「お前おれの漫画読みたいか？」と声をかける日々です。

戦国妖狐

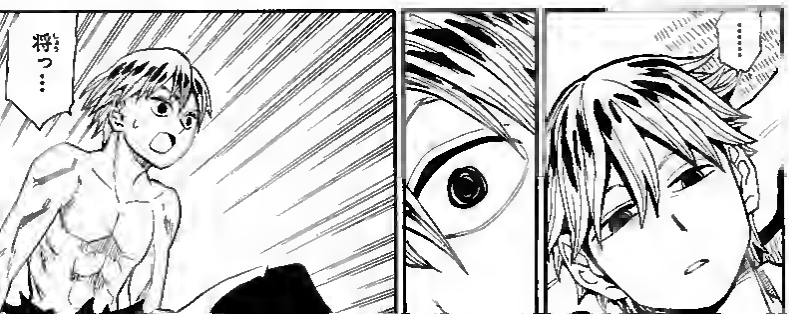
水上悟志

15

contents

第82回 弱きを見つめよ 3
第83回 異形達の宴 33
第84回 正気の狂人 61
第85回 継承 91
第86回 雲を跳び越えて 119
第87回 幽界に遊ぶ 147

第82回　書きを見つめよ



第82回 弱きを見つめよ

おお
千夜
起きたか!!
たまさん
これは…

うむ
真介が幽界干渉で
闇達を一体一体
解放しているのだ
シュウウ

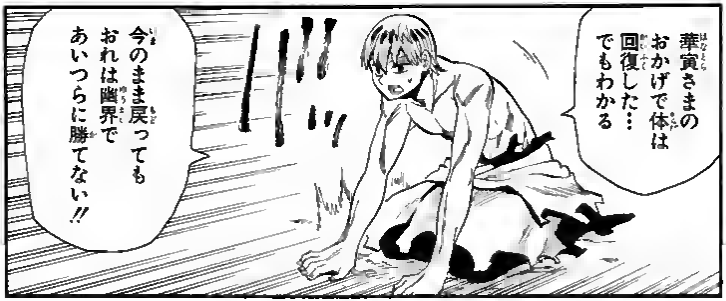
……凄いな
あいつは
お前達が尊敬する
のもわかるよ
……!!
しんすけが
幽界干渉
で…!?
……
しんすけ!!
お
千夜
ど
どうやって…

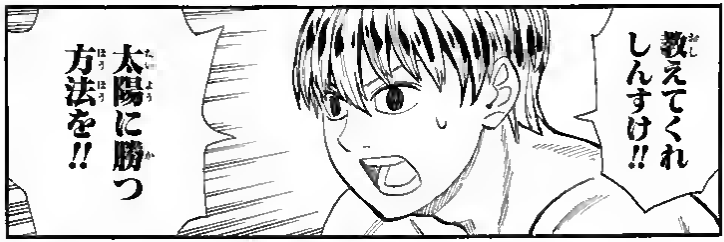
どうやって
一人で…!?
幽界で無の民に
勝つにはおれと
千の闇達みたいに
数の力で対抗する
しかないんじゃ…
うん?

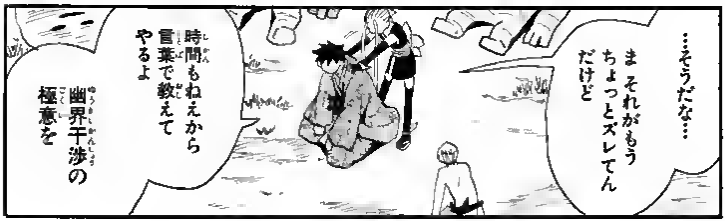
なんだお前
まだそんなこと
言ってんのか
そりゃ腕っぷしだけで
争ってりゃいつか
行き詰まるだろうよ

つーか龍のおっさん…
お前の親父を敵に奪われた時
1000対1なのに負けたんだろ?
その時に何か
掴めなかった
のか?
幽界とは何なのか
とか 敵の強さの正体
とか…
それは…無の民が
太陽になって…
太陽神

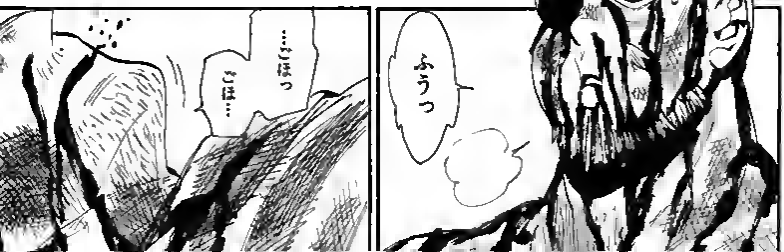
まそうだよな
おてんとさんにゃかなわんよな どんだけ強くても千人でも万人でも
お前らは千人も揃って無の扉の…
たった一人の発想力とお前自身の想像力に負けたんだ
太陽に勝てないっていう


華寅さまのおかげで体は回復した…でもわかる
今のまま戻ってもおれは幽界であいつらに勝てない!!


教えてくれしんすけ!!
太陽に勝つ方法を!!


…そうだな…
まそれがもうちょっとズレてんだけど
時間もねえから言葉で教えてやるよ
幽界干渉の極意を

聞けば簡単
だが 実践は
難しいぞ
特にお前みたいな
強くて半端にバカで
半端に頭がいい
やつにはな


ふうっ
…ごほっ
ごほ…

…参った
私の負けだ……

……遠介…
ありがとう…

神霊さん…
!!
無の民の支配から解放されたなう!!
さすが師匠だぜ
ヒャリ

!?
何故…
もういい…これを好機にするしかない!
この隙に虎男の精神を奪う!!
行くぞ!!

ん？
あっ

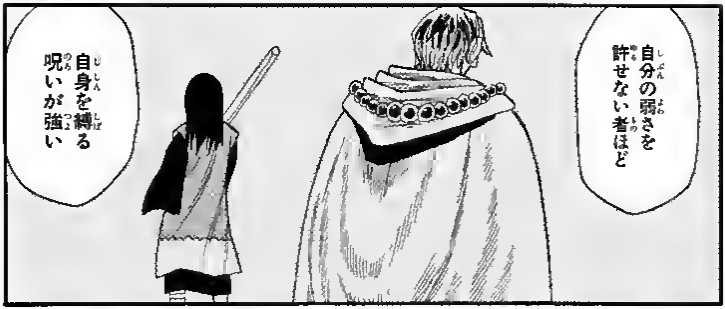
んん？
見せてやる
最強の幻を
自らの想像力と
戦い心砕けるがいい

おお…
……くっくっく…
……くっくっく…
……
くっくっ
……？
くくく…
がっはっはっはっは!!
これは参った!!

何十年かけて
ようやく倒した
強敵が3人も!!
さすがにこれは
かなわんわ!!
降参だ!!
……
…しかしまあ
稽古と思えば
面白そうだ
こんな機会は
滅多にない
勝ち負けが見えてても
かまわんなら このまま
闘ってもいいが
どうだ
やるか?
ズズ…

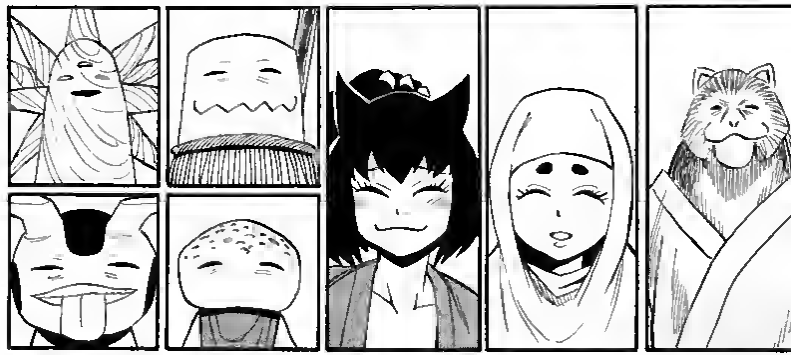
!!!

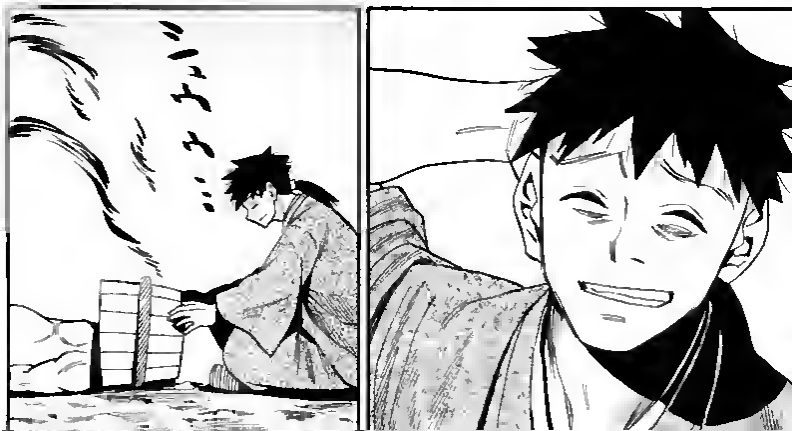
幽界…精神世界で
心を折られないコツ
それは
自分の弱さと
向き合うことだ
敵と「強さ」を
競う時
隠した「弱さ」と「恐怖」
が蓋の下で
存在感を増す


自分の弱さを
許せない者ほど
自身を縛る
呪いが強い

でもな
自分を
許せれば
どんな呪いも
解けるもの
なのさ

だから おれは別に
幽界で敵に打ち勝って
闇達を解放してる
んじゃないんだ
闇達の
側に立ち
背を支え
弱さを
許してやってる
だけだ





精神世界では
戦うな

全ての困難は
己の内から生じ
己が育てる

そういう
小難しい
ことをさ

小さい頃の
お前はちゃんと
考えてたぜ

戦うから
戦いになるんだ

強いっていうのは
怖いことなんだ

千夜

まあ おれが
教えてやれる
のは

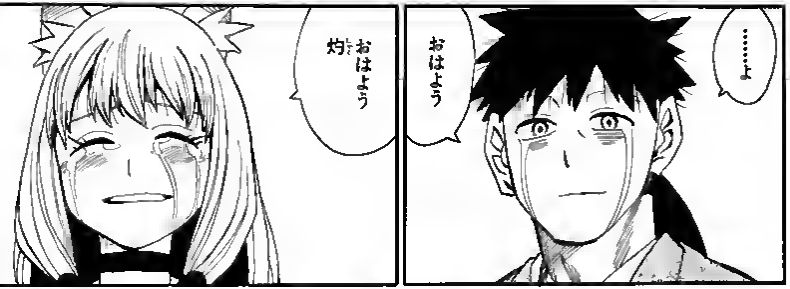
こんな
ところだ

参考に
なったか？

はいっ!!

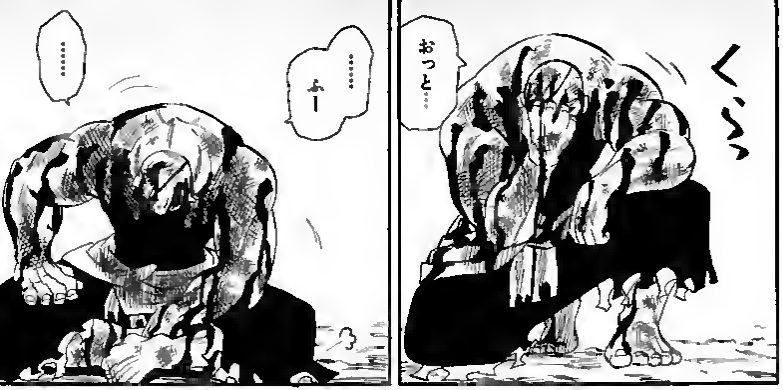
ありがとうございましたっ!!
ぼっ
行ってきます!!
おう
ま待ってけろ千夜
おらも
!
……
……!
うぅぅ…
うーん…

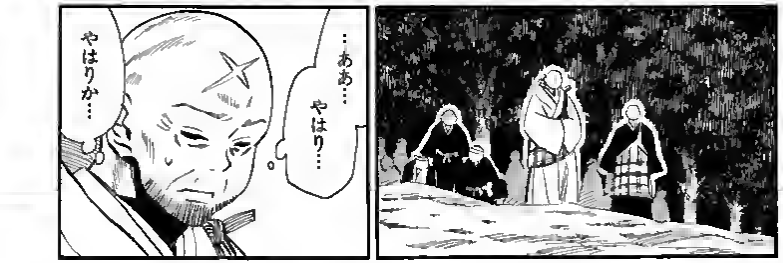
えーと…
ここは…
わたす
何を…


……よ
おはよう
おはよう
灼

あ
お
おはよう
ございます
……？
真介様
たま……様？
なんか変わった
っすね…
…なんで泣いて
るんすか…？

くっ…
ん？
……
だめだ
弱さを突いても
強さを破っても
こいつの心は
折れない…!!
全てを
受け入れて
いる…!!
ふむ…言っておくが
今のわしを操っても
役には立たんぞ？
これ以上
戦えんし
なにより
もう…


くぅ
おっと…
……
ふー
……


…ああ…
やはり…
やはりか…

道練殿も
神雲殿も
血と霊力を
失い過ぎて
いる…

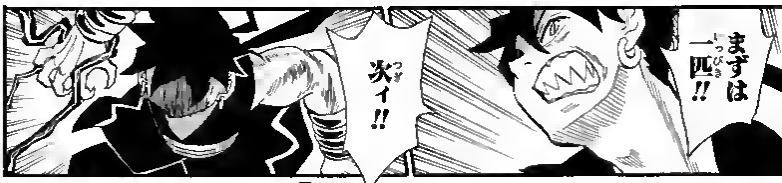
もう長くは
あるまい…

……
!!

……
くろっ
……
んっ?
なんだ
オイ
万象王!!
もう
いいだろ!!
いい加減
に…
ピタッ

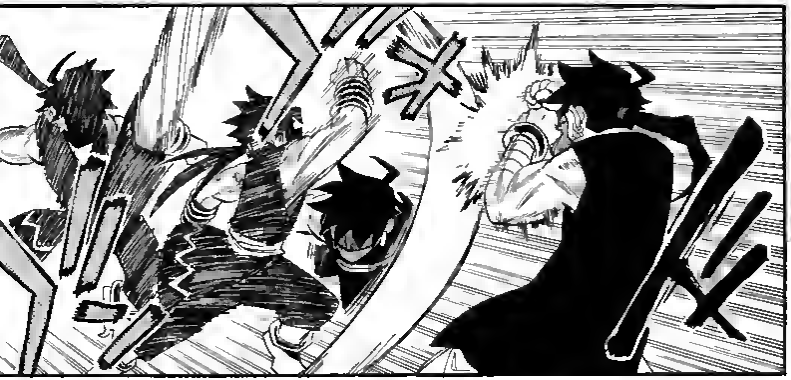
あ？
今度はこっちかよ
だが気に入らねぇな…
さっきと観戦の態度が随分違えじゃねぇかコラ……!!
ビキビキ
……
万象王!!
ソッコー潰して
次はテメーだ雲野郎!!

疾ッ!!


まずは一匹!!
次イ!!

うるああ!!

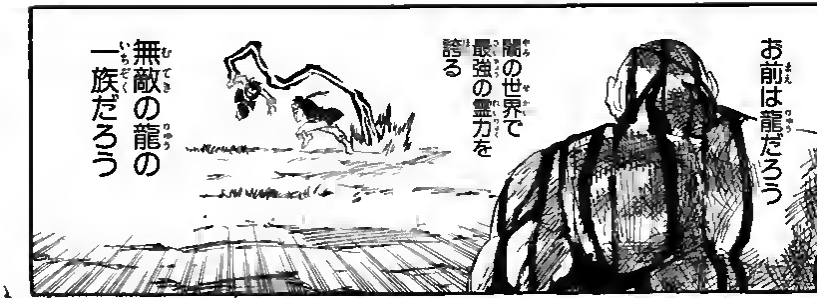
ちっ
カテェな……!!



なんでガキの千夜の方じゃなくてガキのおれの方に手こずる…!?
逆じゃねえのか…!?

やれやれ…ムドにはちと技を教え過ぎたか…
力に溺れ千年の技に敗れた過去と同じことをしているぞ
今度は技に溺れているから力に押されるのだ……

ムド…己が何者か思い出せ…
技に憧れたからといって己の力を否定するな


お前は龍だろう
闇の世界で最強の霊力を誇る
無敵の龍の一族だろう

ムド…〝心の力〟を解き放て!!
ツッのヤロォオォォ!!

調子(ちょうし)ノッてんじゃねーぞコラァア!!!

剛柔一体

強さも
弱さも

己の全てを
糧にしろ

わしが教えられる
ことはもう無い

だが大事なことは
お前の歩む道が
教えてくれるだろう

お前の知りたい
ことはお前自身が
教えてくれるだろう

人生に耳を澄ませ

ムド

我が弟子よ

楽しく
生きろよ

月湖！
なう！
無事で
良かった!!
えっ
千夜!!
千夜…
千夜
千夜！
千夜!!

ムド!!
万象王とは
二人でやるぞ!!
ちッ
千夜!!
せっかく一人で全部
喰ってやろうと
思ってたのによ!!

第83回　異形達の宴

千夜!!
……
私も…
月湖…
……ごめん
その…色々
……ごめん
…月湖となう
ムドと3人で
闇達を無力化
してくれたんだな
ありがとう
こんなに
強かったんだな
月湖は

行ってくる
……

千夜
よく眠れたようだな
はいおかげさまで
ありがとうございます道鋼様
千夜…

！父上…！！正気に戻られたのですね
ああ…道鋼…いや
道介のおかげでな…

行け千夜…お前の成長を見させてもらう…
…煙管でもふかしながらな

わしも少し疲れた
ちと休むからがんばれよ
はいっ!!
行ってきます父上!!道練様!!
千代…
あれが私達の子だ
頼もしく育った…

あれがあんなに
大きかった
万象王か…
ここまで圧縮
できるとは…
千夜の体力が
回復して
いるな
せっかく
解ったのにな…
だが万象王
なら単騎
でも…

第83回 異形達の宴

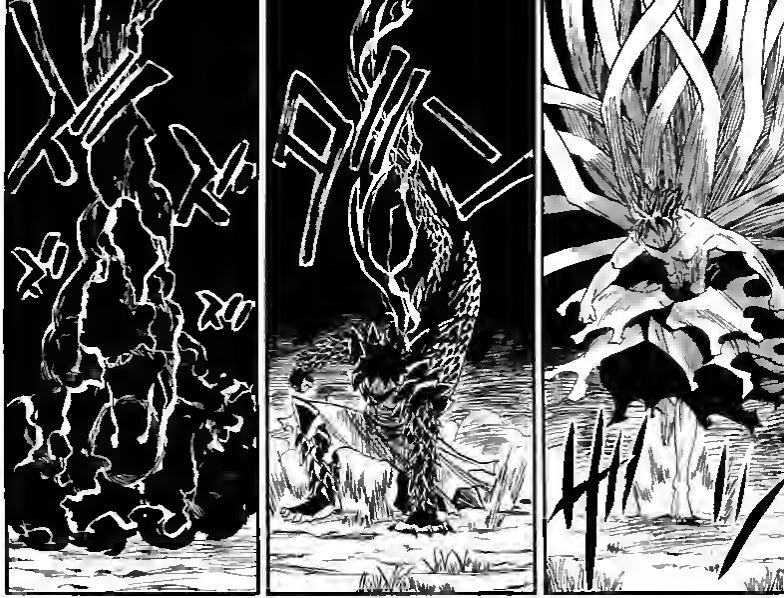
異形

そこからの
光景は

ただただ
異形
としか
言えないもの
だった

神々しき
異形の青年と
雄々しき
異形の黒龍
禍々しき
異形の暗黒が
もつれあって
天へ昇り

三者の霊気が
地を照らした



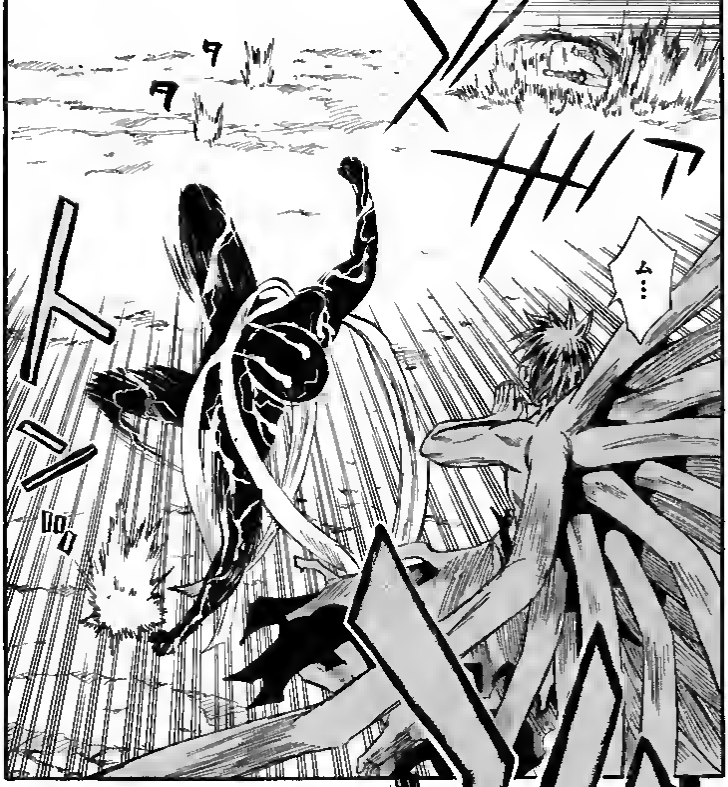
まだまだ
元気そうだな…
千手轟神天が
当たったのに…
くそが
特大雷を
喰らわして
やったのによ
……ま

効くまで
何度でも
喰らわしてやる
だけだけどな

千手轟神天!!

おおお
雷龍堅(らいりゅうけん)!!!

ぐっ…


ふ…

ドコ
ドコ
ドコ
……強い……!!
カッ!!
まだまだだぜ……!!

何 余裕で
突ッ立ッてんだ
万象王オオ!!
ああ
まだまだ…!!

泣くな
月湖
あいつらの
他には誰も
入れねぇなう

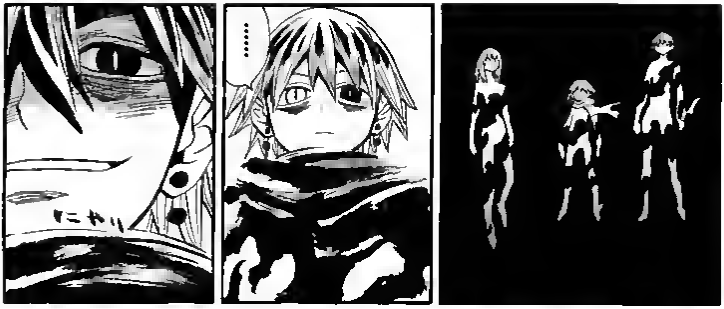
おれさまも
あそこまでは
行けない…

いつも3人一緒だった時間は
もう…終わったんだなぁ

いつまでもは一緒に居られない
楽しかったけど

千夜はもう
村に帰らない
つもりだなう
…おれさまも
もう ずっと前に
…帰らなきゃ
いけない場所が
あるって思い出してた
なう

この戦いが
終わったら
お別れだ
なう


……
にやり

なにを
しんみりして
やがる
高みの
見物人ども

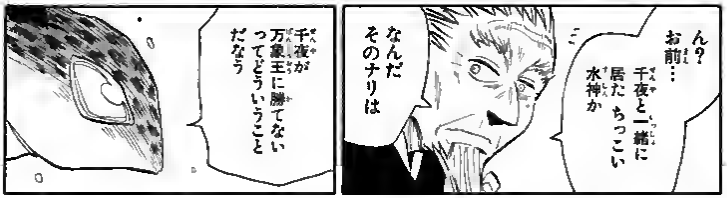
今のままでは
あいつら
万象王には
勝てんぞ
野…

野禅!!
ぐぐぐぐぐ
おっひさ〜
あら
こんにちは
なに?

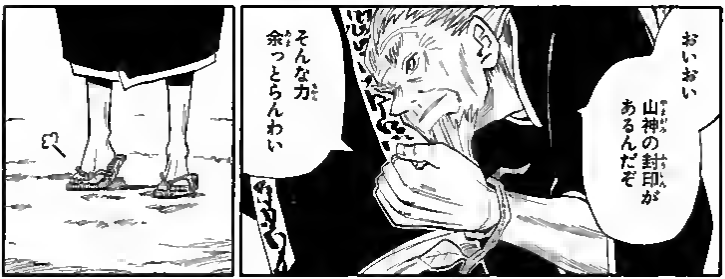
ん?
む?
央鳳!!

第84回 正気の狂人

野神!!
……じくずのは
なぜ
ここに
?


ん?
お前…
千夜と一緒に
居た ちっこい
水神か
なんだ
そのナリは
千夜が
万象王に勝てない
ってどういうこと
だなう

うむ…
その前に
おい そろそろ
下ろして
くれんか
…逃げようと
したら
足 折り
ますよ
まあ
怖い

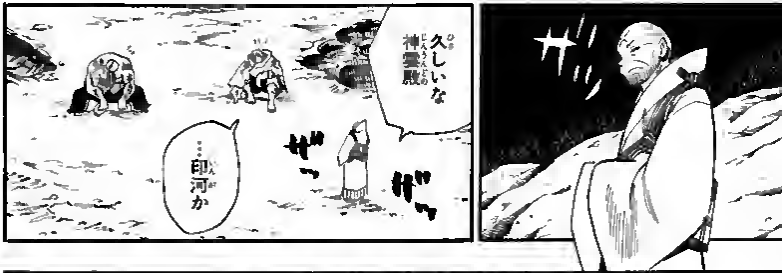

おいおい
山神の封印が
あるんだぞ
そんな力
余っとらんわい

ふー
やれやれ
きょろ
きょろ
抱えられて
移動するのも
大変でしたねえ
……む
本陣はあっちか…
印河…

なう 野襖さんって
もしかして
黒月斎様の
友達の…
ひょうたんの
助言
くれた人?
そうだ
なう
さて 千夜が
万象王にかなわん
理由だが
単純だ
万象王の
方が強い

……倒す
方法は?
無くはないが
……いいのか?
倒してしまって
え?
それは
どういう…
万象王の
助力が
無ければ
迅火の結界を
破れんだろ

千本妖狐の結界島…
！


久しいな神霊殿
…印河か

央鳳！下りてこい
む 野禅……と あの女子は誰だ？
…妖狐？

今行く
待てまだ話は…
またか
ならば一緒に来なさい

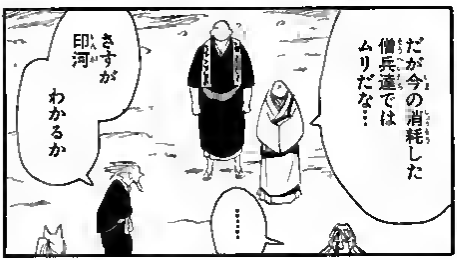
ド
ド
ド
万象王を倒す方法は
ひとつ

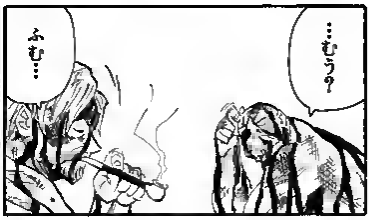
……
？

霧散させる
奴は雲だ
雲は散るし
減る

えーと…
どういうこと
ですか？

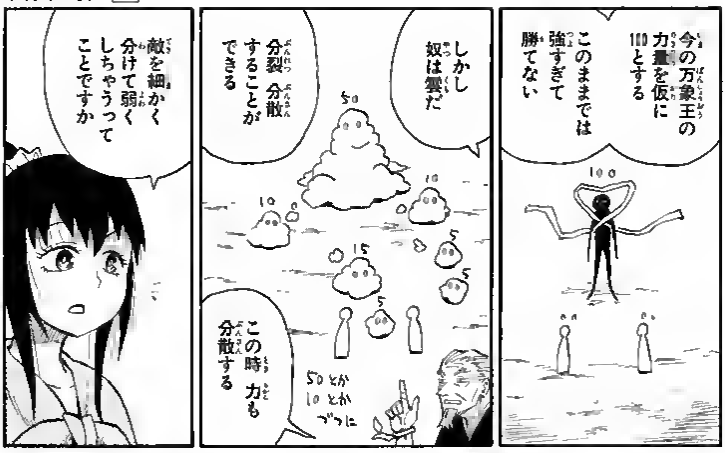
なるほど
やはりそうか


だが今の消耗した
僧兵達では
ムリだな…
……
さすが
印河
わかるか

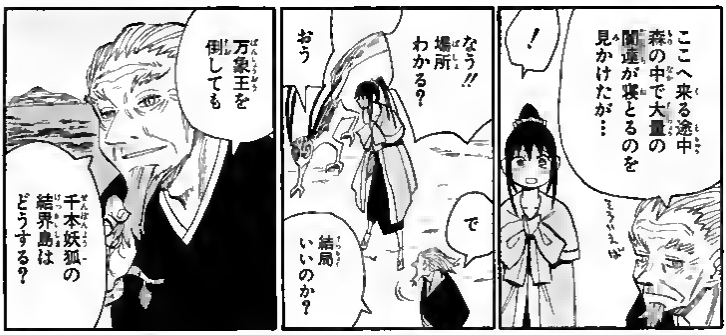

…むう？
ふむ…

お前も
わかっとらんだろ
わかったふり
するな
ふっ

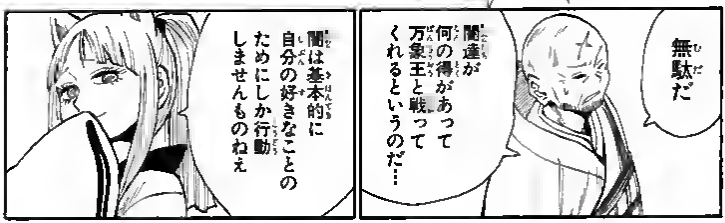
説明
しよう

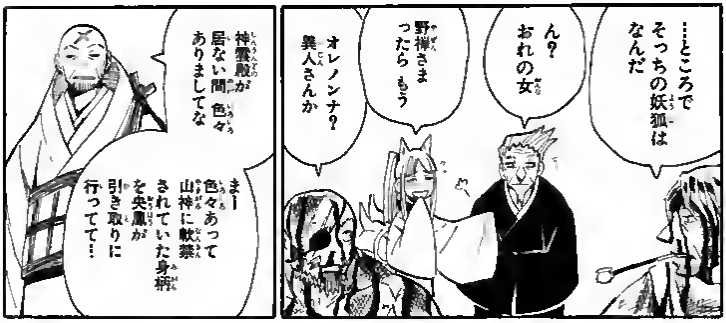

今の万象王の力量を仮に100とする
このままでは強すぎて勝てない
100
しかし奴は雲だ
分裂 分散することができる
50
10
5
この時 力も分散する
とかとかづつに
敵を細かく分けて弱くしちゃうってことですか

ああ方法としては大勢で囲んで多方面から攻め
対処させればいい……
……が
戦える人手が足りない ムリだ


ここへ来る途中森の中で大量の闇達が寝とるのを見かけたが…
!
で
結局いいのか？
なう!! 場所わかる？
おう
万象王を倒しても
千本妖狐の結界島はどうする？

このまま千俊が殺されるのを待つわけにもいきません!!
行くぞ!!


無駄だ
闇達が何の得があって万象王と戦ってくれるというのだ…
闇は基本的に自分の好きなことのためにしか行動しませんものねぇ


…ところでそっちの妖狐はなんだ
ん? おれの女
野禅さまったらもう
オレノンナ? 美人さんか
神雲殿が居ない間 色々ありましてな
まー色々あって山神に軟禁されていた身柄を央鳳が引き取りに行ってて…

……
……!?

話すと長くなりますが野槌殿には多くの罪状が…

…って何をそんなに驚いてるんで？

誰にもバレんようにしとったんだがなあ

迅火のせいで滅茶苦茶に…

あの時は

大変でしたねぇ

ほー

異人さんの妖狐とは珍しい

ドロ

ドロ

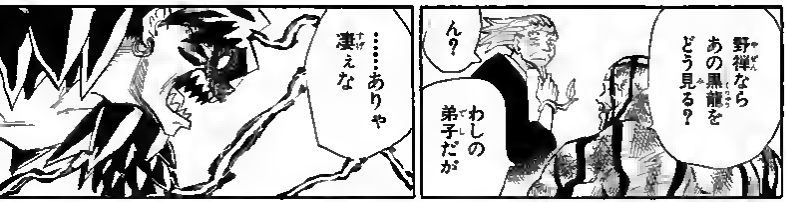
ドロ

くそ
歯無しかよ…!!

はぁ
はぁ

あーらら
押されてるな
大体なんだ
千夜の
あの千手観音
もどきは
格好ばかりで
霊気の変質も
半端じゃねぇか

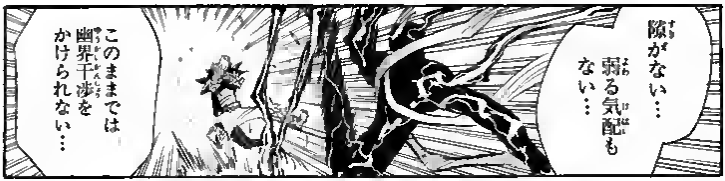
……もっと先へ
行けるだろ…
帰ってこれない
ところまで…
まだ未練
が……？


野禅なら
あの黒龍を
どう見る？
ん？
わしの
弟子だが
……ありゃ
凄ぇな

霊気の迫力が
尋常ではない
研ぎ澄まされて
いながら
激しさも持ち合わ
せている
死闘の中で
頭のネジが
外れたか
今の半端な
千夜よりは
よっぽど強いかも
しれん

ふふん
どうだ神雪
わしの弟子は
すごかろう
ドドド

なんて闇だ…
万象王…


隙がない…
弱る気配もない…
このままでは
幽界干渉を
かけられない…

くそ…
幽界干渉
さえ
出来れば…

!!

ドン

ハァハァ

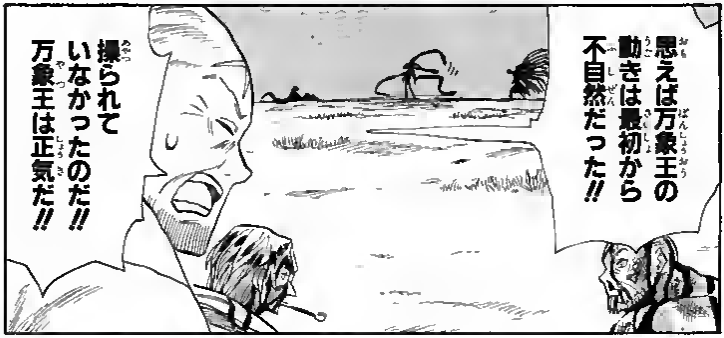
幽界……
干渉!!

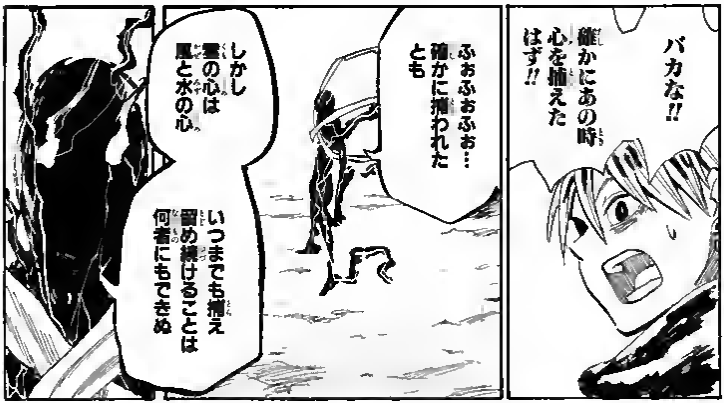
!!
空……!!

ふぉっふぉっふぉっ
残念
我は操られて
おらぬのよ
なっ…!!
天は週間ゆえ
操られたふりで
「こっこ」遊びをしとった

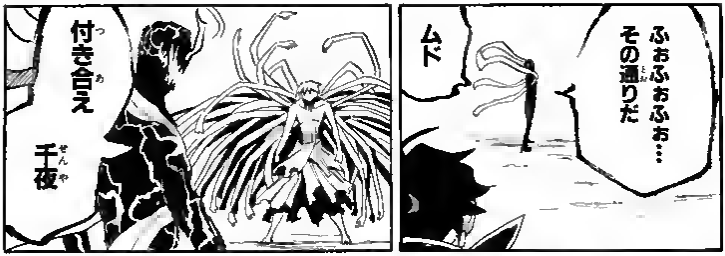
少年達よ
もう少し
楽しませて
おくれ
あの日の
ように
それとも祭りは
もう終わりかの?
……!!
……
……
祭りは
終わりです
あなたと戦う
理由はない

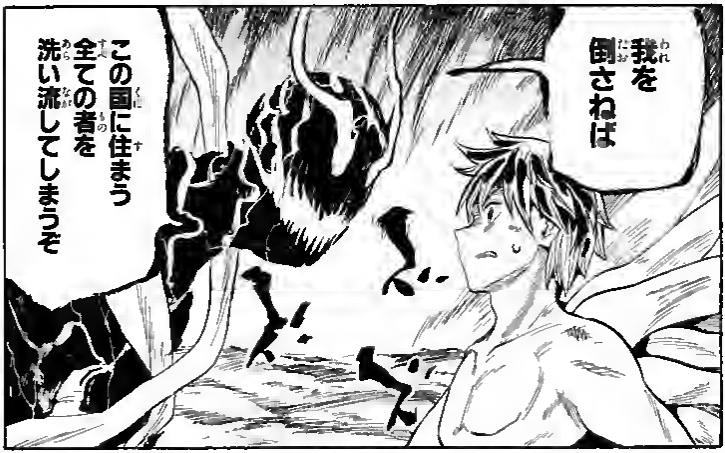
ああ!?
!?
ん?
……!!
……
やはり!!


思えば万象王の
動きは最初から
不自然だった!!
操られて
いなかったのだ!!
万象王は正気だ!!


バカな!!
確かにあの時
心を捕えた
はず!!
ふぉふぉふぉ…
確かに捕われた
とも
しかし
雲の心は
風と水の心
いつまでも捕え
留め続けることは
何者にもできぬ

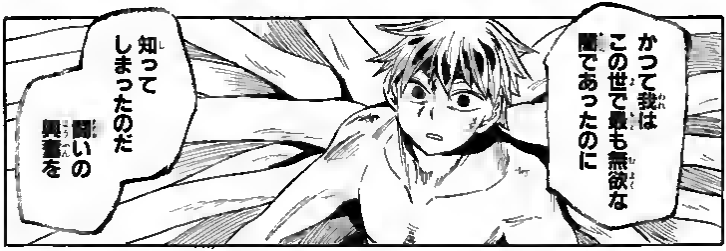
空に在り
万の頭上を覆いし
天蓋の王
ゆえに
万象王
しゃべった…
しかし操られて
いないということは
……
この戦いを
終わらせ
られる…？
……
バカ
言え
ここまで
です
あなたの退屈
しのぎにはもう
付き合いませんよ
ふざけんな!!
こんな半端で
終われっかよ!!


ムド
ふぉふぉふぉ…
その通りだ
付き合え
千夜


我を
倒さねば
この国に住まう
全ての者を
洗い流してしまうぞ

そんなこと
できる
わけが
時をかけ
挑む
我にとって良い
趣味となろう

お前達が教えたのだぞ？
我に「楽しみ」というものを


かつて我はこの世で最も無欲な闇であったのに
知ってしまったのだ闘いの興奮を

責任をとれ
ムド千夜

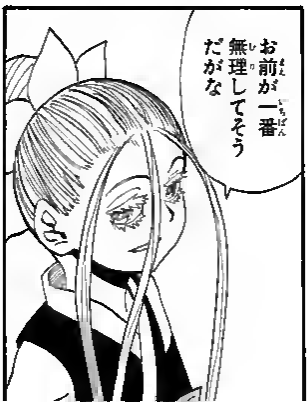
あの日の責任を

おぉお!!
らぁあ!!
これは
礼でもある
我を祭りに
連れ出してくれた
無の民どもへのな
祭りの景品に
されぬよう
せいぜい抵抗せよ
千夜
……

ドドド

？
神雲殿
道錬殿
何を…
よかろう
!!
任せよ
あらあら
内容も聞かずに
即答ですか
知れてる
この状況で
二人の望み
など…!!
……!!
印河!!
？
あら…
!
!!
!?

本当に戦える者だけでいい!!
絶対に無理はするな!!



危なくなったらすぐ退けよ!?
なーにあんたにゃ救われたんだ!!
闇の心をわかってくれるお人のためならば!!

真介様…
千夜…今行くよ
行くなう
万象王…!!
絶対従わせて辺火の結界を破らせてやる…!!
千夜〜待ってけろ〜

なっ…
ありえん!!
これほどの
闘気を
正気のまま
従えるなど…
ふぉふぉ…
祭りだ
愉快!!

!! そうか…
あの時のあの男
……
あいつが
ここ数年で
噂の…

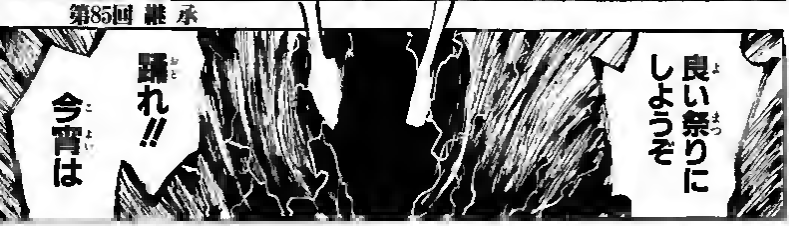
ドドドドドド
「闇と座す者」
風祭真介
か!!

おい 水神!!
千夜をここに
連れて来い!!
!!
ドドド
野神!?
一体何の…

なに
年寄りども
がな
形見を
渡してえ
ってよ
ドド
ドド

第84回 /完

ふぉふぉ
ふぉ…
■やか
■やか…
ドドドドド


良い祭りにしようぞ
踊れ!!
今宵は

無礼講である!!

〃
万象王が
あっさりと身を
分けた…〃

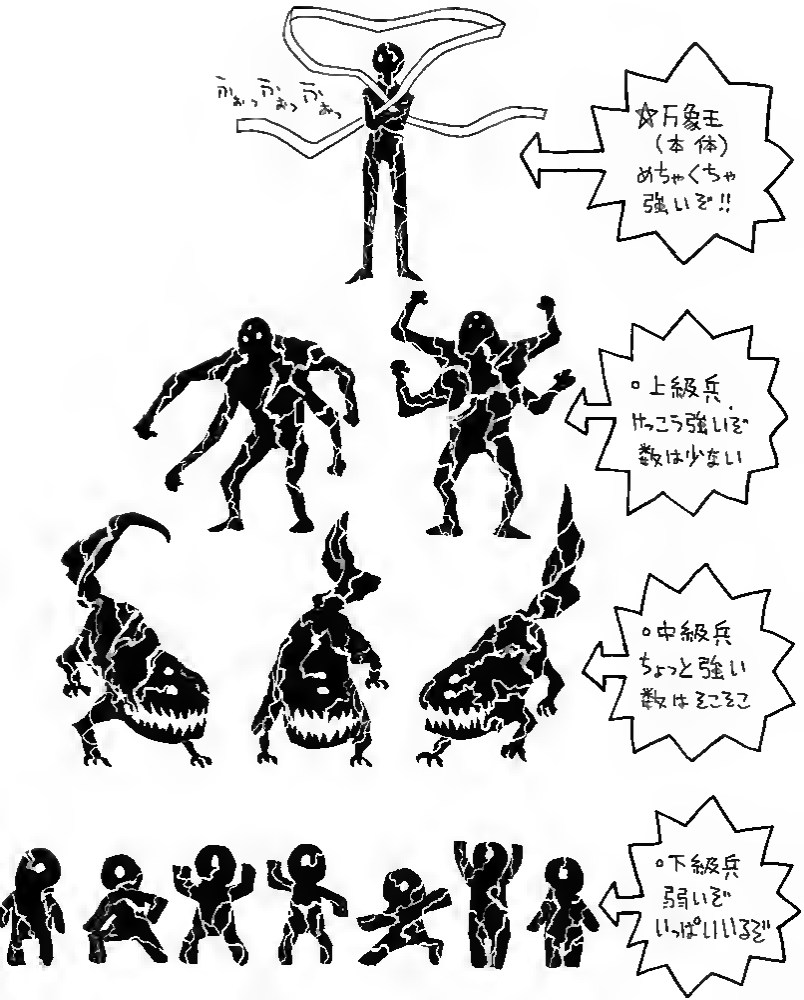
正気と動機が
良い目を出したか〃

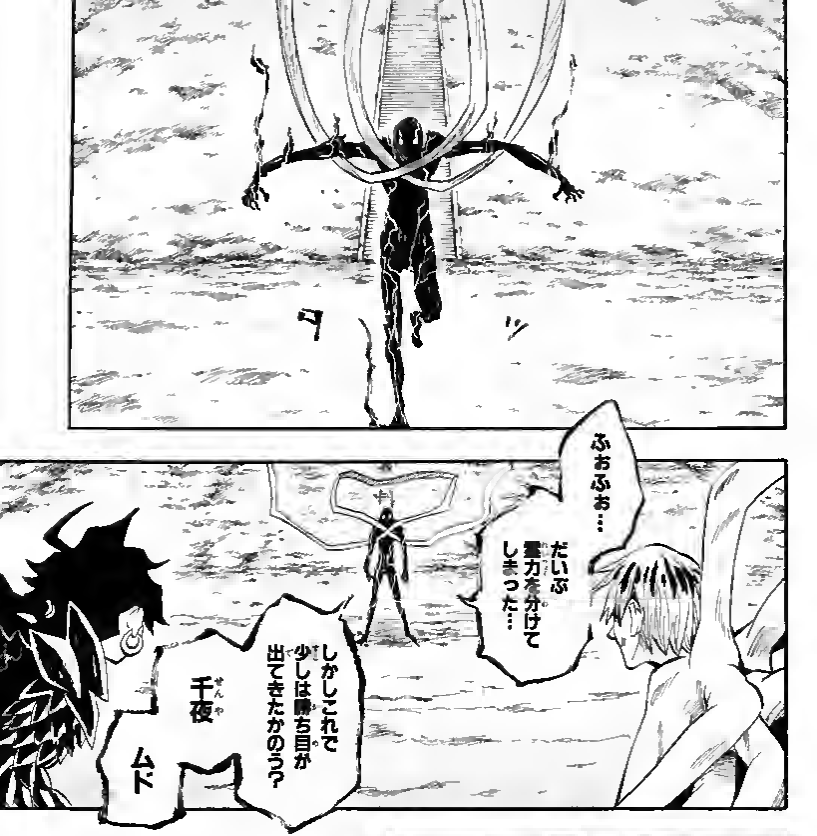
数に対抗
するため
では？

万象王が本気で
勝つ気なら 身を分けずに
そのまま戦った方が確実だ

ほとんどの者が奴に
通用する攻撃力を
持たないからだ
だから奴の身を
分けるには何か作戦
が必要なはずだった
しかし…
祭り…と
言っていたな
ああ…万象王に
とってはこの戦いは
遊び
だ

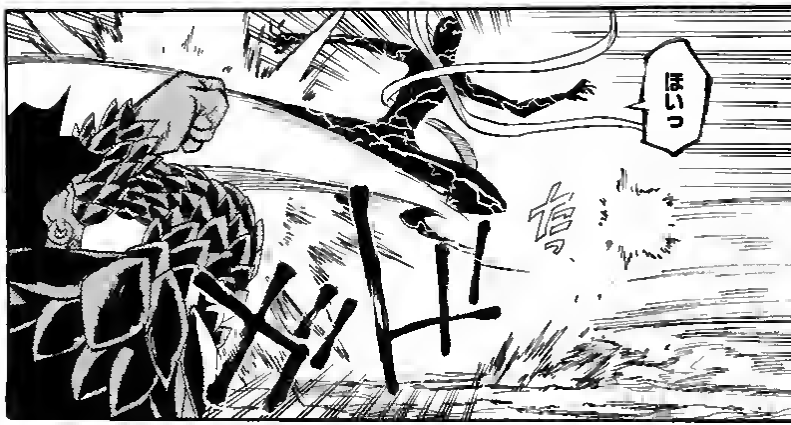
第85回 継承


ぶぉっぶぉっぶぉ
☆万象王
（本体）
めちゃくちゃ
強いぞ!!
◦上級兵
けっこう強いぞ
数は少ない
◦中級兵
ちょっと強い
数はそこそこ
◦下級兵
弱いぞ
いっぱいいるぞ


ふぉふぉ…
だいぶ霊力を分けてしまった…
しかしこれで少しは勝ち目が出てきたかのう？
千夜
ムド

誰めやがって……
皆が…

!!
余所見はいかんな
!!

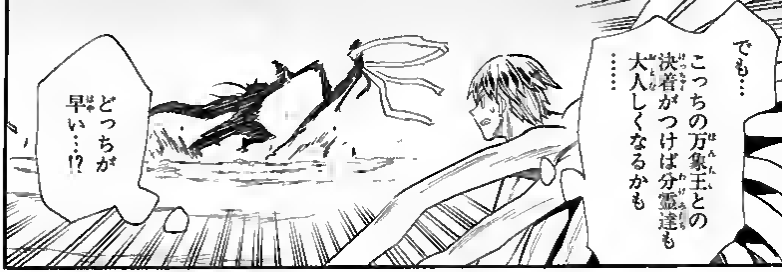

ほいっ

ちっ
この威力…
身を分ける前とあんま変わんねぇな…!!
さっきは加減しておったから左
痺てるように
これでもまだ強すぎたかのう

ほざけ!!

くっ
あの数の分霊を出してもまだあんな強さを…
なんて霊力量だ…!!
ちらっ

あっちに加勢したい…
万象王の分霊に圧されて危ない闇も少なくない…!!


でも…
こっちの万象王との決着がつけば分霊達も大人しくなるかも……
どっちが早い…!?

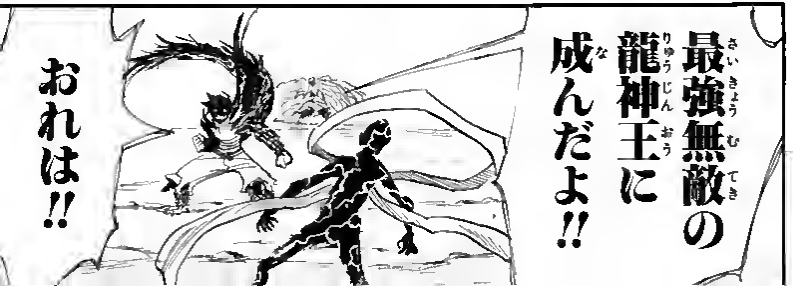
千夜ぁ!!
!!

もう我慢ならねェ!!
こいつぁおれ一人にやらせろ!!

これ以上コケにされて…

たまっかよォ!!

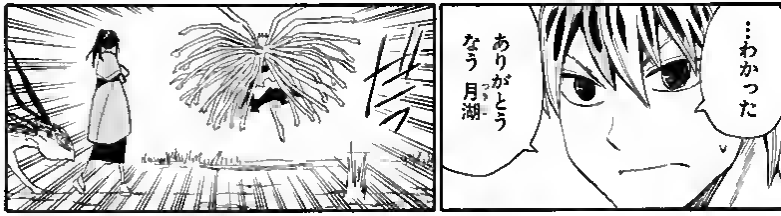
ふぉふぉ…
一人でやるには分が悪いと思うかの
うるせぇ!!


最強無敵の龍神王に成んだよ!!
おれは!!

雲なんざ
突き抜けて
吹き飛ばして
やるぜ!!
ふぉふぉ…
噛りに
先程までと違う
構え…
成程
楽しめ
そうだ

ムド…
死ぬなよ!!
千夜!!
なう!!
月湖!!
千夜!!
野禅が
呼んでる
なう!!
戦場後方
虎のおっさん達
の所!
野禅様が
来てるのか!?
でも今は
間違が…
そっちは私達に
任せて 行って
行け
千夜
大事なこと
だなう

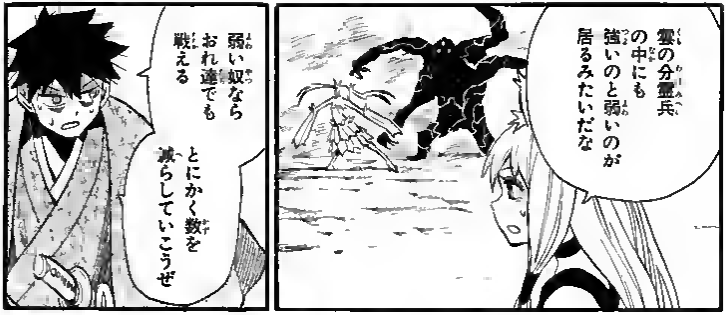
でも…
行って
大丈夫
だから
誰も
死なせない!!
絶対!!

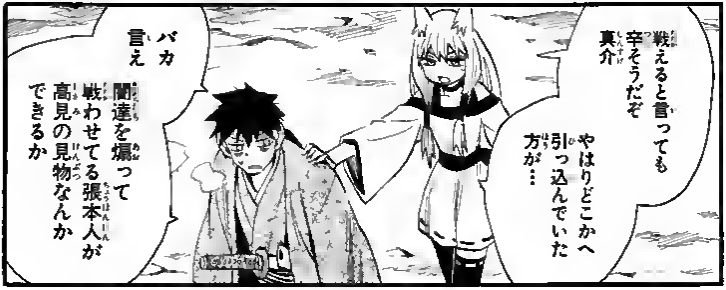

…わかった
ありがとう
なう 月湖

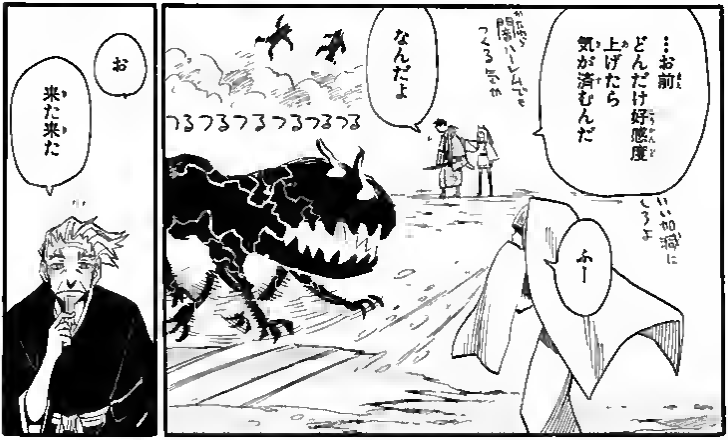
じゃ行くよ
なう
おう

ドドド

行くっすよ
火岩!!
おうよ
芍薬!!
ドゴ
堅い……!!
雲なのに
……!!
バッ

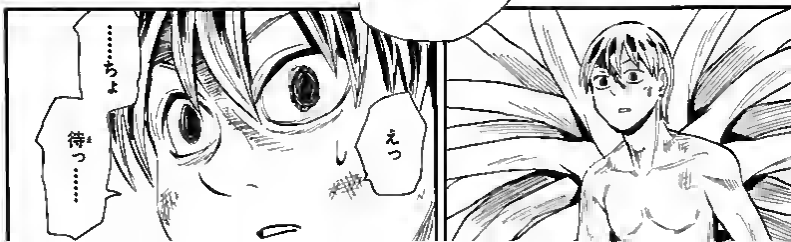

雪の分霊兵の中にも強いのと弱いのが居るみたいだな
弱い奴ならおれ達でも戦える
とにかく数を減らしていこうぜ


戦えると言っても辛そうだぞ真介
やはりどこかへ引っ込んでいた方が…
バカ言え
闇達を煽って戦わせてる張本人が高見の見物なんかできるか


…お前どんだけ好感度上げたら気が済むんだ
なんだよ
ふー
お
来た来た

野禅様！
そう
話は後だ
すぐ
始めるぞ

神雲の
龍と
道錬の
虎を
お前に
移植する


えっ
し
……ちょ
待っ……

千夜
貰ってくれ
……
そんな
いきなり…
そんなことを
したら…
霊核を抜けば
もちろん
死ぬとも
お前が
受け取らずとも
二人は深手だ
どちらにせよ
いずれ死ぬ

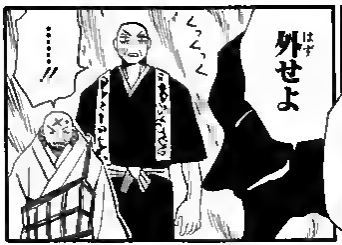
二人の形見
受け取り
看取るか
このまま
死なすか
好きな方を
選べ
千夜
おれは…
おれはっ…!!

父上…
道錬様…
8年かかって
また会えたのに…

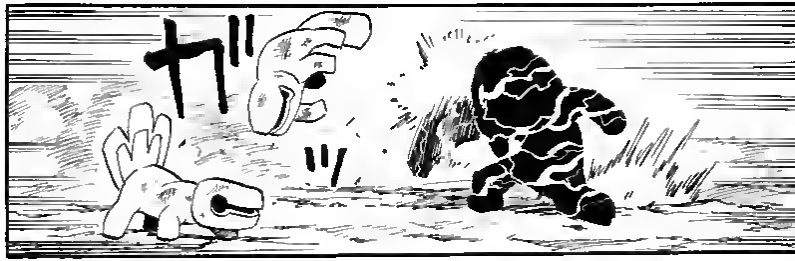
共に居る

山神様の封印を外せと…!?
それは罪人の枷!!
そんなこと…

外せ
!!


外せよ
……!!

霊核移植術式はわしにしかできん
無駄死にさせる気か？
断怪業の至宝を


ガ

グオ
スタッ

ドドドドド
ゴゴゴゴゴ
ドドドドド
!!

ドッ
!?

!?

分霊達よ
いくつか集まれ
良いのが来た
ズ

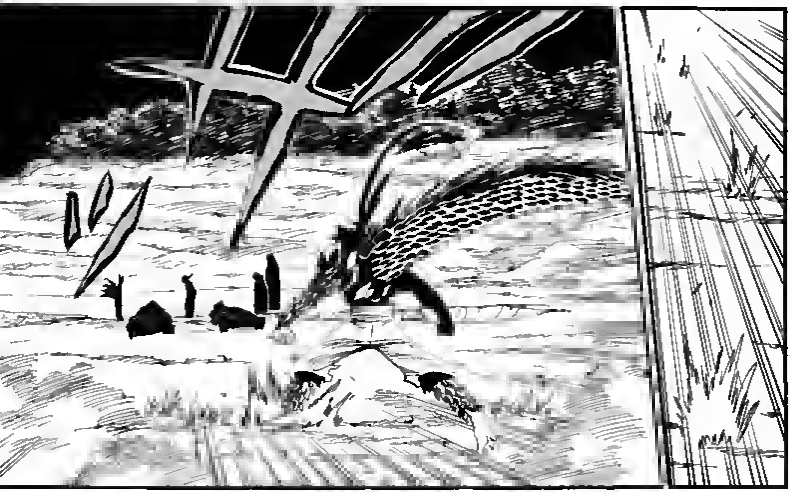
特上位の
分霊兵で
歓迎せねば

第85回／完

第86回 雲を跳び越えて

……
ほう……
……
おい 万象王!! ちょっと 待ってろ!!
ほっ?

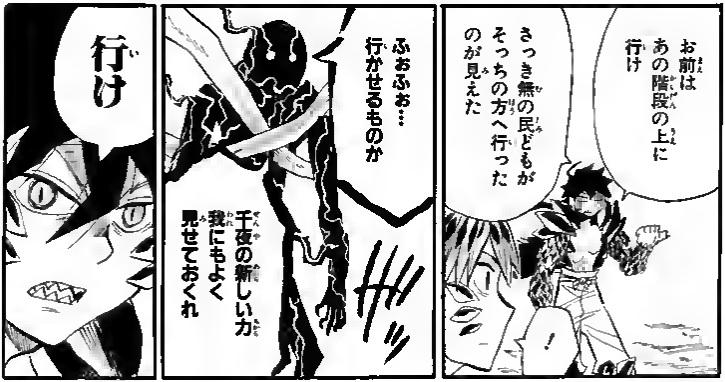
ムド…
じろ
じろ
じろ
じろ



……
バッ
…あやつ
何を行ったり来たりしておる?
おい千夜
!
腑抜けたツラしてんじゃねえぞ

ムド…
…わかってる

てめえが
どんな鳴り物入りで
参上しようがな
万象王は
おれがやる
いや
じゃあおれは
分霊兵を…


お前は
あの階段の上に
行け
さっき無の民どもが
そっちの方へ行った
のが見えた
！
ふぉふぉ…
行かせるものか
千夜の新しい力
我にもよく
見せておくれ
行け

万象王の
分霊兵どもは
闇達で抑えられる
程度の連中だ
しかし…
任せて
やれや

虎の脚で
駆け
龍の尾で
跳ねろ
雲なんぞ
一息で飛び越え
られる

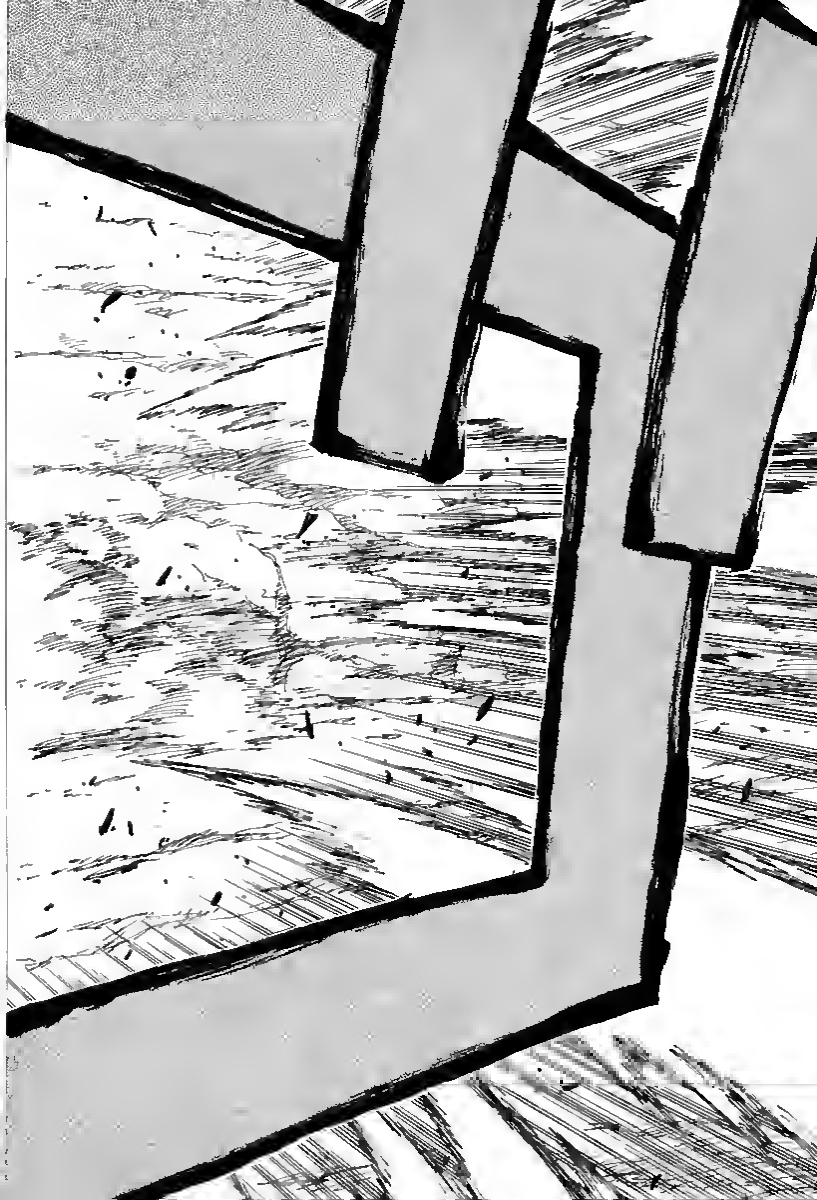
行かせぬと
言った

それは
我と戦うための
力だろう?
千夜!!
ズズズ
いつまでも
グダッてんじゃ
ねえぞコラ
千夜!!
行け!!
……
わかった…
行くよムド
だが
一発ぶち込んで
スッキリして
からだ!!!

んじゃとっとと
行くぞオラァ!!

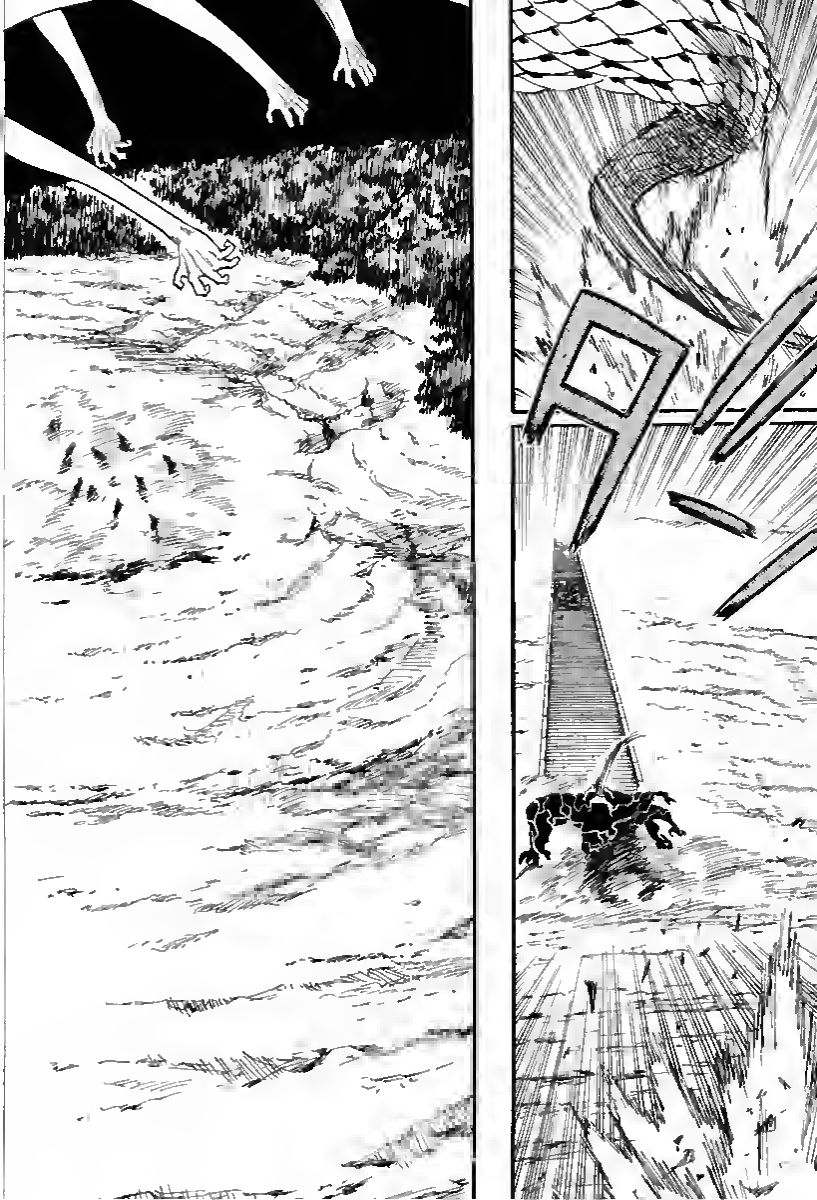
ドド

お
お
お



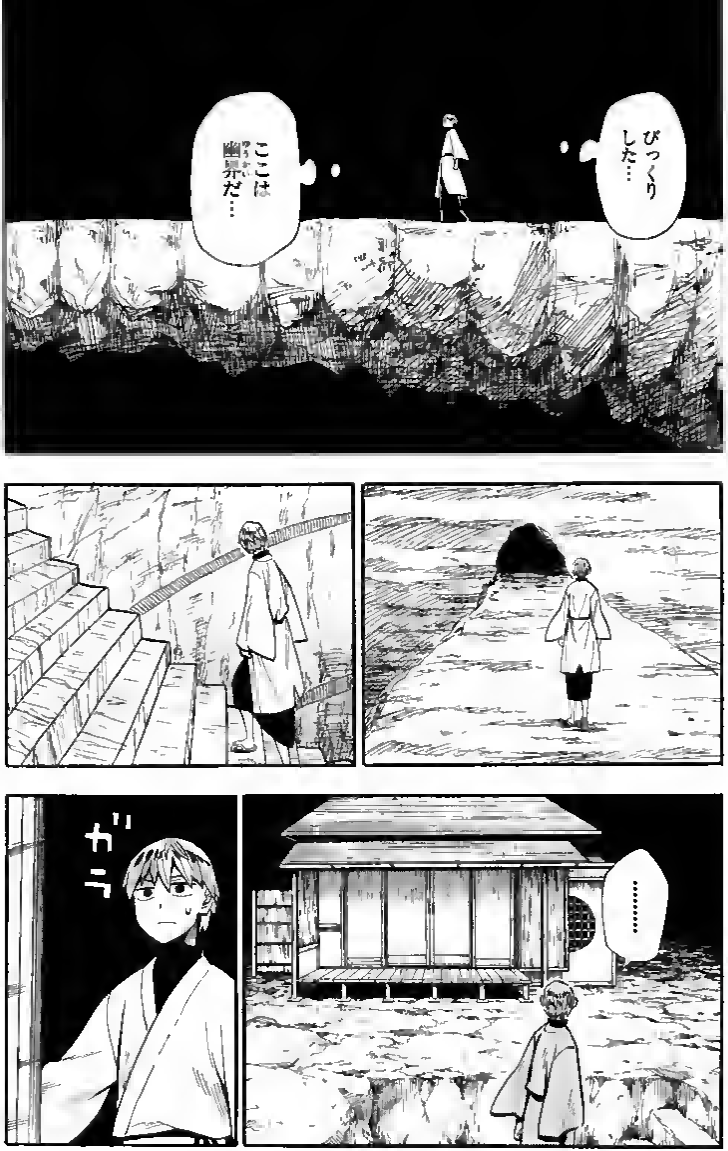
ぶふっ
は
はは
は
は

行け!!



ゴン
おぉおおお

この距離の
体術なら
てめーなんかにゃ負けねーんだよォオオオオ!!
ドドド


びっくりした…
ここは幽界だ…
ガラ
……

シャカ
シャカ
シャカ

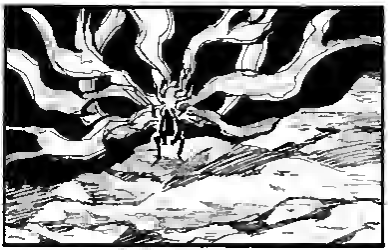
えーと
あの…
出しておいてなんだが
飲まぬ方が良いよ

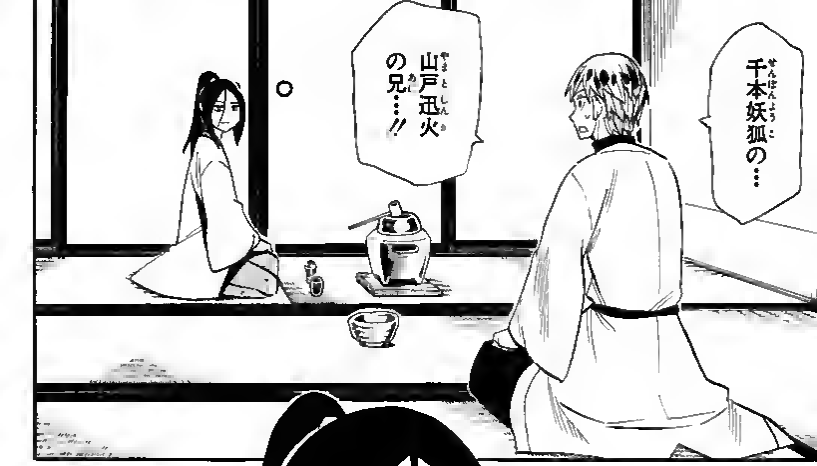
喜ゆえ
……
うそぴょん
…さて「喜ゆえ」と「うそぴょん」どちらを信じる？
…なんですあなたは
無の民はどこに…

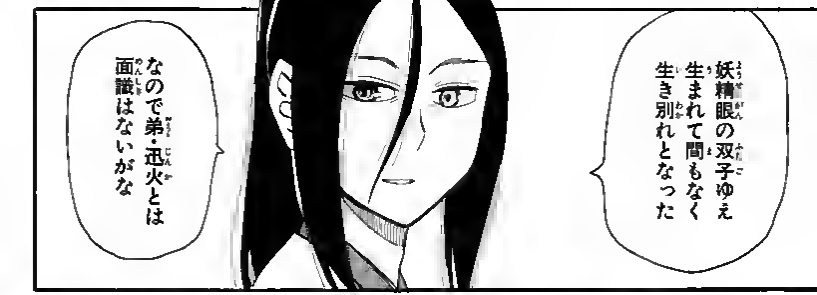
某は山戸猛

山戸迅火の兄で御座る
第86回／完

第87回　幽界に遊ぶ



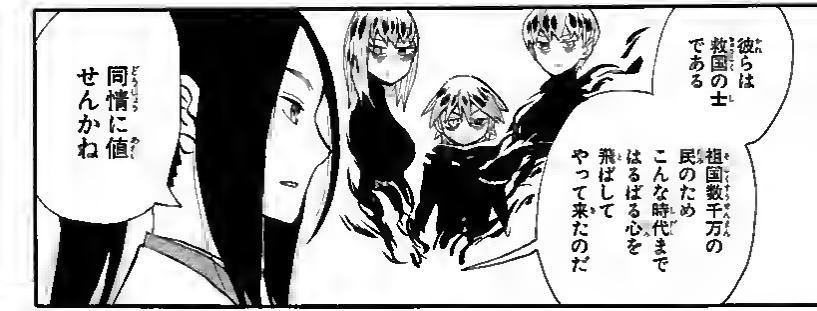

千本妖狐の…
山戸迅火の兄…!!


妖精眼の双子ゆえ生まれて間もなく生き別れとなった
なので弟・迅火とは面識はないがな

な…何故今 幽界に……!?
ま 色々あってな
それゆえ事情も大体知っている
千夜くん
無の民を救ってやってくれまいか?

第87回 幽界に遊ぶ

無の民を
救え…!?

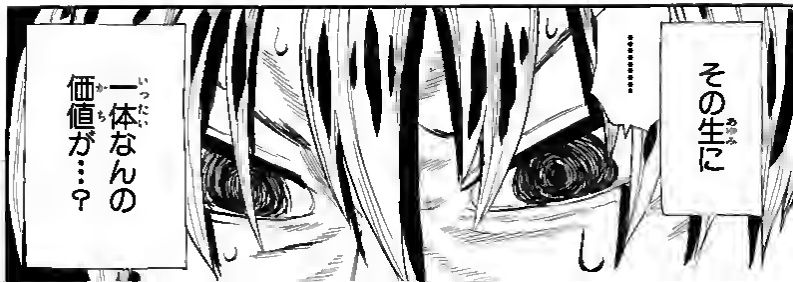

彼らは救国の士である
祖国数千万の民のためこんな時代まではるばる心を飛ばしてやって来たのだ
同情に値せんかね

あいつらは卑怯者だ…!!
それにあいつらが求めているのはおれの霊核…
命と引き換えてまで救う義理などない…!!
彼らが卑怯なのは他に手段がないからだろう
それに己の命ひとつで国ひとつ救えるのだ
男の死に様としてこんな名誉なことはあるまい?

…あんた侍か…？
侍は命を粗末に扱う…!!
いかにも山戸は武家であるが
生ける者皆死ぬ
ならば美しい最期を求むるのも命を大事にしていると言えんか？
ごまかしだ!!
大事なのは最後まで懸命に生きることだ!!
懸命とは命を慰けてと書く
君は何ゆえに生きどう歩む？
おれはっ……!!
おれが選んだのは…

村を捨て
人を捨て

只一人
宛てもなく
永遠に彷徨う
生き方…

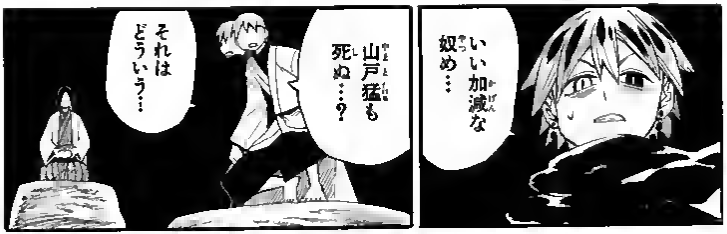

その生に
……
一体なんの
価値が…？

千夜くん
！
顔色が悪いぞ？
茶を飲むといい
ほら
ノドが
渇いたろう？
ノドが…
渇いてきた…
しかしこの茶は
毒入りと…
…いや…それは
ウソだとも…
どっちだ…？
……
やれやれ…
ここは幽界だぞ？
毒入りと思わば
毒入り
思わねば
只の茶だ
言葉に
惑わされ
すぎだ

！
幽界…
精神世界では戦うな
そうか…
これも戦い…!!
ようやく気付いたか
そんなに弱くては無の民とは渡り合えぬぞ?
……
あなたは一体…
!!
山戸…
猛!!

なっ…
おっと
バキ
バキ
バキ
バキ
バキ
バキ
バキ
バキ
パシッ

山戸猛…!!
お前は一体
どっちの味方だ
無の民…
菜は誰の味方
でもない
死なずに済むなら
それで良いと
思っているし
どうせ死ぬなら
満足して
死にたいとも
思っている

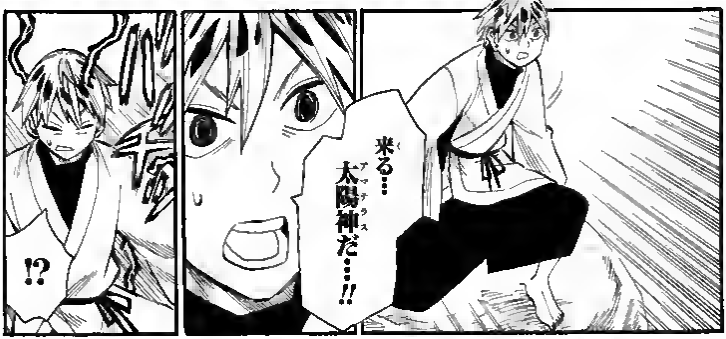

いい加減な奴め…
山戸猛も死ぬ…？
それはどういう…

彼らが欲するは2つの霊的特異点
千夜くんの霊核・千怪の宝玉と
我が弟・千本妖狐
山戸丑火
そして我ら妖精眼の双子は
命が繋がっている
ゆえに弟が人柱となった暁には
某の末路も同じく
人柱ということ

お前達への同情心も嘘ではないぞ
無の民よ
しかし自分の命も惜しい
それはどちらも自然な気持ちだろう
どちらも…自然…
もういい引っ込んでろ
うっとおしいやつだ

せっかく島に
幽閉したのに
他人の幽界に
出入りできるとは…
某も
妖精眼ゆえな
師は無く
我流だが
それに某の命も
俎上に上がって
いるのだ
黙って
引っ込んで
いられるか

ならば
千夜
もろとも
心を焼かれ
廃人になれ…!!


来る…
太陽神だ…!!
!?

我が名は邪責!!

地を遭う全てを喰う森なり!!

我が名はナタレ!!

天翔ける一閃の大河なり!!

義により
新たな主君の
剣とならん!!

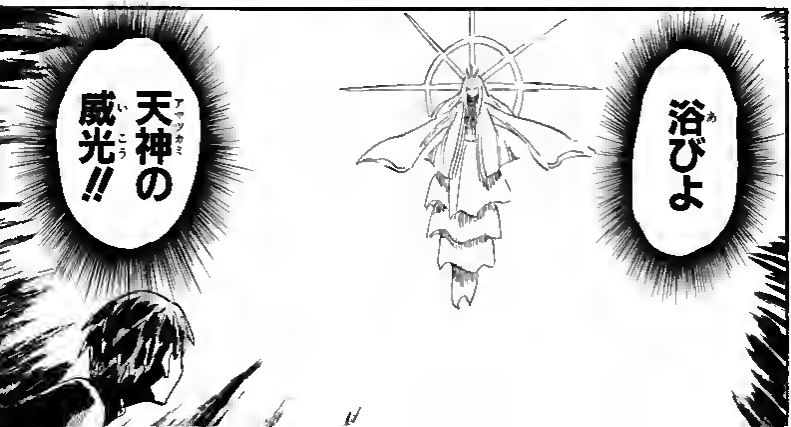
お前はヘビだ

お前はネコだ

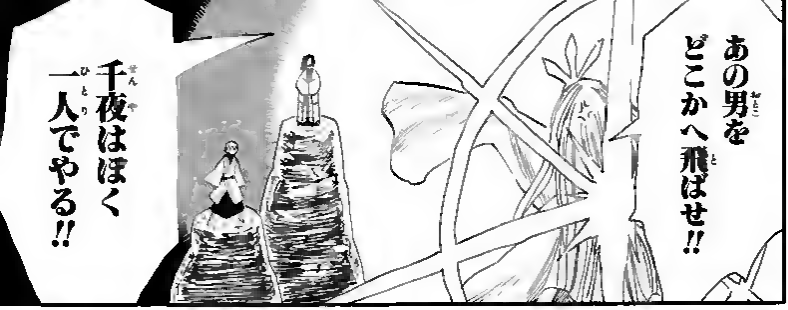
なっ…

ようやく
骨を掴んだ
なるほどこれが
幽界のやり方か
現界で腕自慢で
あった者ほど幽界では
脆い傾向がある
…虎男は
例外だが

虎男とて
太陽神で
焼いてやれば
きっと屈服
させられたさ

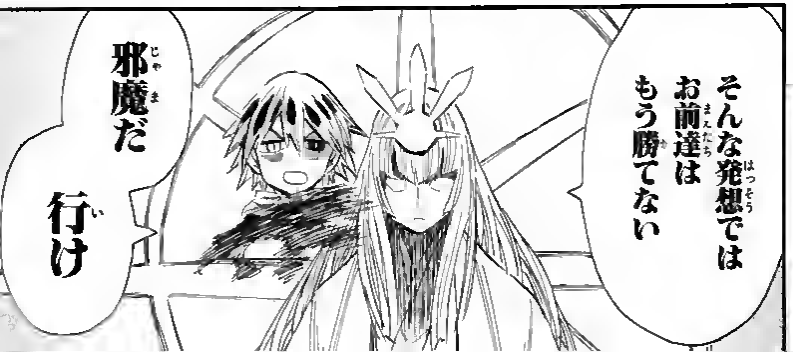

浴びよ
天神の
威光!!

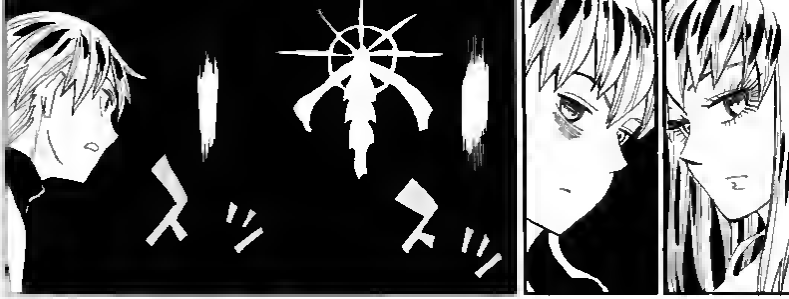
ゴゴゴ
……!!
なにが
天照大神か
毒茶まみれの
小僧っ子が


あの男を
どこかへ飛ばせ!!
千夜はぼく
一人でやる!!

一人で
やれるのか?
千夜の
運命力は
凄まじいぞ
ナダレ 闇の軍団
万象王の連戦という
大舞台で仕留めよう
という お前の策をも
飛び越えて
ほとんど無傷で
ここにやって来た

その上
神々しき霊気
に目覚め
龍と虎を
連れ
策をぶつける
前よりも
奴は強敵の
気配を
増している


そんな発想では
お前達は
もう勝てない
邪魔だ
行け


スッ
スッ

では
千夜くん
また
後で

おっ？

今度こそ
何の邪魔も
ない!!
燃え果てろ!!
!!

うっ…
精神世界では戦うな
全ての困難は己の内から生じ己が育てる
無理だよしんすけ…
抗わなければ呑まれる…
己の内から生じる…!?
この炎自体おれが生みだしてるというのか…!?

はい
お天道さまより
暴り空の方が
強いと思います
天才
天才
!!

はあ
はあ
これは…
バ…
バカな!!

太陽の大きさを
知らないのか!?
たかが雲
なんかで…
太陽はよく
光ってはいるが
輪郭くらいだ
あと夜になるのは
月が怖くて
逃げてるんだと
思う
よくよく考えて
みれば怖がる
ような物では
ない

バカが!!
……は…
はは…
そうか…
これは戦いじゃない…
遊びだ……
発想し
想像する
遊びなんだ
戦いを遊びへ…
かつておれが願ったこと…!!

おのれ…
ならば
バカにも
わかりやすく…
父の威に
圧し殺されろ!!
じゃあ
こっちは…
ガッ
毛虫だ!!
!?

父上は昔
手元をよく見ずに
水筒の栓を開け
ようとして
毛虫を
ひねり潰した
ことがある!!
以来その感触が
忘れられず毛虫が
大の苦手なのだ!!
うわあああ
ぐにゃ

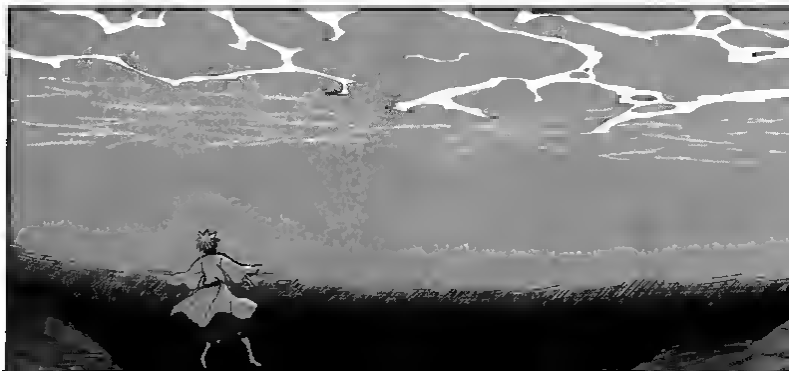
気持ち
わるっ!!
ぼん

!!
想像したら
変身が解け
た…!!
勝った…

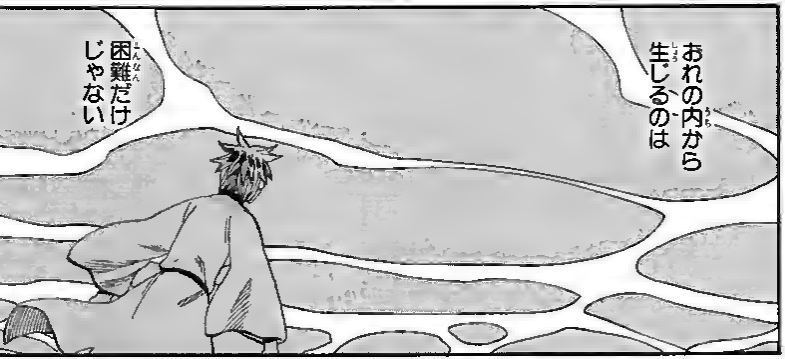
ならば…!!
避けえぬ
もの!!
呑まれ
よ!!

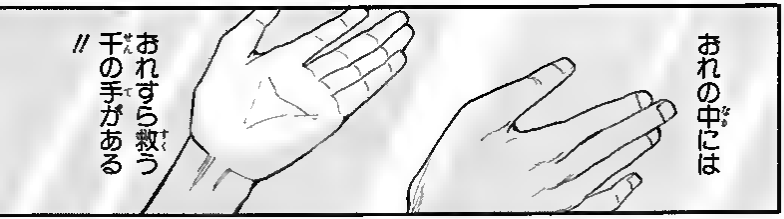
大嵐!!

!!
これは…!!
くっ…
はい
海の底なら
嵐は関係
ないかと
天才
天才



ここでまた千体の数の利が利いてきた…
おれにない発想をおれの中の誰かがしてくれる…


おれの内から生じるのは
困難だけじゃない

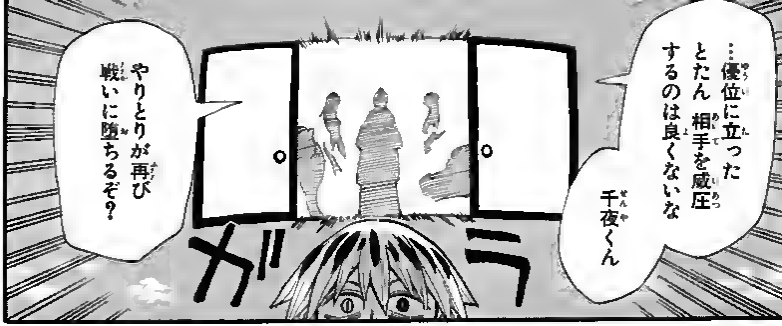

おれの中には
おれすら救う千の手がある
//

精神世界で心を折られないコツ…
それは自分の弱さを認めることだ
相手と「強さ」で競う時「隠した」「弱さ」と「恐怖」が蓋の下で存在感を増す
しんすけみたいに上手に自分を受け入れられないけど
力で競わないなら遊べばいいとわかったから

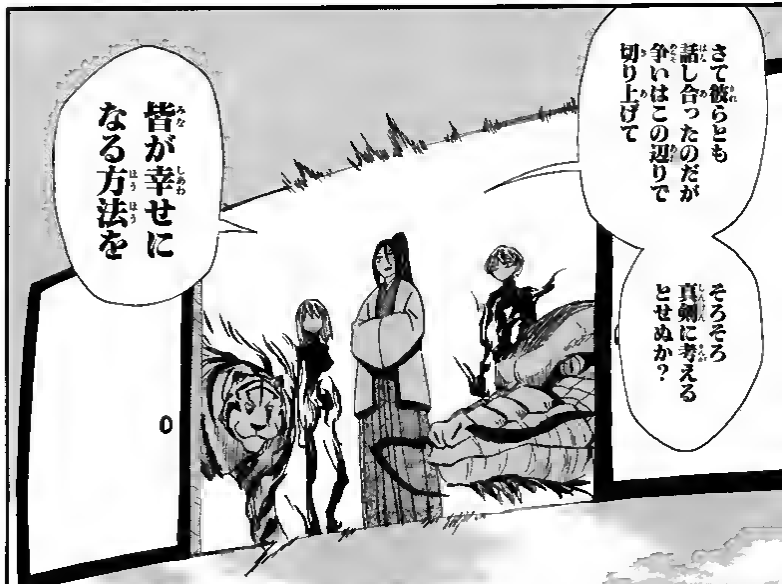
うぉ

ぐ…

お前なんか
怖くない
お前はどうだ
おれ達が
怖いか？


…優位に立ったとたん 相手を威圧するのは良くないな
千夜くん
やりとりが再び戦いに堕ちるぞ？
ガラ

！
山戸猛…!!


さて彼らとも話し合ったのだが争いはこの辺りで切り上げて
そろそろ真剣に考えるとせぬか？
皆が幸せになる方法を

戦国妖狐15　おわり

戦国妖狐
第15巻

作画スタッフ
蝶田じゅえる
臼井仁志
相模 映

タイトルロゴ
赤羽美保

カバーデザイン
行徳ゆみ(オン・グラフィクス)

担当編集
宮本幸則

戦国妖狐 ⑮

2015年8月25日初版発行

■著者
水上悟志
©SATOSHI MIZUKAMI 2015

■発行人
保坂嘉弘

■発行所
株式会社マッグガーデン
〒102-8019　東京都千代田区五番町6-2　ホーマットホライゾンビル5F
（編集）TEL.03-3515-3872　FAX.03-3262-5557
（営業）TEL.03-3515-3871　FAX.03-3262-3436

■印刷所
中央精版印刷株式会社

■装幀
行徳ゆみ on Graphics

初出／コミックブレイド2014年11月～2015年3月、5月配信分

無断転載・上演・上映・放送を禁じます。
乱丁・落丁本はお取り替えいたします。
但し古書店で購入したものはお取り替えできません。
定価は表紙カバーに表示してあります。

ISBN978-4-8000-0485-7　C9979

Printed in Japan

本作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件等には一切関係ありません。

SENGOKU YOKO ⑮ SATOSHI MIZUKAMI